

(3) 団塊の世代のタイプ分け

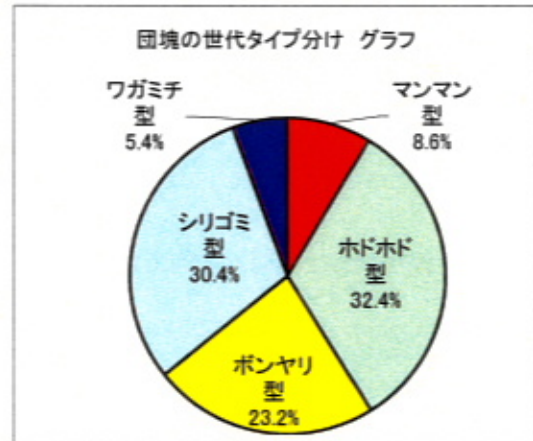
団塊の世代タイプ分け

5つのタイプ

- ①マンマン型・・・社会参加に肯定的であり、その意思表示が明確な人たち
- ②ホドホド型・・・社会参加に肯定的であるが、その意思表示が曖昧な人たち
- ③ボンヤリ型・・・社会参加の意向そのものが曖昧で漠然としている人たち
- ④シリゴミ型・・・社会参加に否定的であるが、その意思表示が曖昧な人たち
- ⑤ワガミチ型・・・社会参加に対して否定的であり、その意思表示が明確な人たち

		問22 市民・ボランティア・NPO活動						
		コミュニティ・ビジネス、事業型NPOを起業・創業したい	起業はしないが、コミュニティ・ビジネス等を行う組織に所属したい	市民活動団体やボランティア団体に所属して活動したい	個人でボランティア活動に参加したい	とくにやりたいとは思わない	その他	合計
問19-3 ボランティア・NPO活動	やってみたい	5	5	11	9	5	0	35
	現在すでにやっている	1	2	6	10	4	2	25
	誘われたらやってみたい	7	27	45	34	41	1	155
	やってみたいとは思わない	2	9	3	13	106	1	134
	合計	15	43	65	66	156	4	349

タイプ	人数	割合
マンマン型	30	8.6%
ホドホド型	113	32.4%
ボンヤリ型	81	23.2%
シリゴミ型	106	30.4%
ワガミチ型	19	5.4%
計	349	100.0%



・ホドホド型やシリゴミ型が多い傾向が見えることから、意思表示が曖昧であることがわかる。これは今まで仕事なり家事なりを務めてきたので、今後の新しい生活を考えにくい状態であることや、市民・ボランティア活動の経験が乏しいのでどのように行動したらよいか分からないからだと考えられる。このことは社会参加に対してわからない状態にあるというボンヤリ型が多いこととも符合する。

※出典：社会教育プレミアムNo729(2007年3月号)
特集・団塊世代の力を教育サポーターに、より

4. 考察

下野市の団塊の世代像

☆プロフィール☆

男性

10～30年

会社員・公務員

女性

30～50年

専業主婦

居住年数

仕事

主に子どもと同居している

近隣との交流

男性：たまに立ち話をする

女性：相談し合える親しい友人がいる

趣味・ライフワーク

共通：旅行・観光

土や緑に親しむ

男性：スポーツ

女性：文化鑑賞



自信があること

共通：組織内で協調的に行動できる

男性：世の中の動きについていける

女性：特にない

今後の不安

共通：健康で過ごせるか

経済的に暮らしていけるか

団塊の世代像考察

単純集計結果およびクロス集計結果から下野市の団塊の世代像を考えるにあたって、以下のクロス集計結果から、別紙図のような団塊の世代像が思いつく。

このような世代像を踏まえたうえで、下野市の団塊の世代に対するアプローチの方法を考えていきたい。

男女別の下野市での居住年数		問1 性別		
		男性	女性	合計
問4 下野市での 居住年数	50年以上	97	17	114
	30年以上～50年未満	47	59	106
	10年以上～30年未満	114	31	145
	5年以上～10年未満	7	5	12
	5年未満	13	6	19
	合計	278	118	396

男女別職業		問1 性別		
		男性	女性	合計
問5 職業	会社員・公務員	133	8	141
	会社役員	26	2	28
	パート・アルバイト	21	26	47
	自営業(自由業・農林業含む)	43	20	63
	家事専従	0	50	50
	無職	48	8	56
	その他	7	4	11
	合計	278	118	396

男女別近隣との交流		問1 性別		
		男性	女性	合計
問9 近隣住民と の交流	相談しあえる親しい友人がいる	41	44	85
	家族同士でつきあっている家庭がある	51	23	74
	たまに立ち話をする程度である	96	35	131
	顔が合えば挨拶をする程度である	75	12	87
	ほとんどつきあいはない	11	2	13
	その他	3	1	4
	合計	277	117	394

男女別今後の生活不安		問1 性別		
		男性	女性	合計
問12 今後の生活 の不安	近所とのつきあい	6	5	11
	経済的にやっていけるか	117	49	166
	健康で過ごせるか	220	92	312
	生きがいを見つけられるか	47	19	66
	配偶者との関係を良好に保てるか	17	8	25
	一人になった時に寂しさに耐えられるか	16	12	28
	体が弱ったとき、面倒を見てくれる人がいるか	37	22	59
	オレオレ詐欺などの犯罪に巻き込まれないか	2	2	4
	災害時孤立しないか	2	1	3
	その他	3	2	5
	合計	279	118	397

男女別自信があること		問1 性別		
		男性	女性	合計
問20 自信があること	世の中の動きや情報についていける	79	15	94
	仕事以外の友人や知人のネットワークを持っている	47	15	62
	人に教えることができるような資格や趣味、特技がある	52	13	65
	組織の中で協調的に行動できる	93	29	122
	健康で体力や行動力に自信がある	52	16	68
	リーダーとしてグループをまとめる力がある	22	0	22
	イベントなどの企画力や資金集め、宣伝などの営業ができる	9	1	10
	特になし	64	51	115
	その他	6	0	6
	合計	279	118	397

男女別趣味ライフワーク		問1 性別		
		男性	女性	合計
問18 趣味・ライフ ワーク活動	スポーツ	114	18	132
	旅行、観光	170	78	248
	文化鑑賞	39	43	82
	文化活動、創作活動	43	24	67
	土や緑に親しむ活動	105	48	153
	研究活動	15	0	15
	その他の活動	6	0	6
	やりたいと思っていない	5	0	5
	合計	279	118	397

団塊の世代像解説

(1) 下野市の団塊の世代像

男性279名、女性118名から回答を得ており、世代別に昭和22年度121名(30.5%)昭和23年度140名(35.3%)昭和24年度136名(34.3%)となっている。

- ・ 家族構成として夫婦のみ(32.2%)もしくは子どもと同居している(40.1%)という核家族が多く、10年以上にわたって下野市に居住しており(91.9%)、男性は会社員や公務員(47.8%)、女性は専業主婦(42.3%)が多い。
- ・ 近隣との交流については、男性は立ち話をする程度(34.6%)だが、女性は相談し合える親しい友人がいる(37.6%)という人が多い。
- ・ 自信を持っていることとして、男女共通して組織内で協調的に行動すること(全体30.7%、男性33.3%、女性24.5%)があり、この他、男性は世の中の動きについていける(28.3%)が多く、一方で女性は特にない(43.2%)が多い。
- ・ 生活に関して、旅行・観光(共通62.4%、男性60.9%、女性66.1%)や土・緑に親しむ活動(共通38.5%、男性37.6%、女性40.6%)という夫婦共通の趣味がある。これとは別に男女それぞれにやりたいことがあり、それに対してお互いに尊重しようとする意志が感じられる。また、健康面(78.5%)や経済面(41.8%)で少なからず共通の不安を抱えている。

(2) 今後の生活設計について

- ・ 今後について考えている人が6割近く(59.7%)いる中で、特に関心のある事項として健康の維持と管理(34.6%)や収入や経済的な支え(24.4%)といった部分がある。このことは今後の生活の不安事項として健康で過ごせるか(45.5%)、経済的にやっていけるか(24.2%)という部分と符号する。
- ・ 9割近い人(88.9%)が配偶者とともに生活をしている。夫婦それぞれのやりたいことを大切にしたい(56.0%)と考えている人が最も多く、夫は家具・家電製品の修理(21.9%)を主な家事としている。
- ・ 趣味、ライフワークとしては旅行・観光(34.7%)が最も多く、次いで土や緑に親しむ活動(21.4%)となっている。
- ・ 学びの場所として公民館・図書館(22.2%)や公的機関主催の学習会(21.9%)を考えている人が多いが、情報源としては新聞・雑誌・ミニコミ誌(37.1%)やテレビ・ラジオ(21.9%)である。
- ・ 多くの人々が家庭生活(90.4%)、自分の趣味(86.9%)、健康(96.0%)といったことを重視したいと考えている一方で、地域・NPO活動(重視しようと思う47.6%、思わない45.1%)や仕事(重視しようと思う49.4%、思わない43.4%)に関しては重視しようと考えている人とそうでない人が半分ずつ程度である。

(3) 市民活動、ボランティア活動について

- ・ 自治会役員等はやってみたいと思わない否定的な考えが6割近く（59.9%）になるが、反対にサークル活動等は7割を超える人（71.8%）、ボランティア・NPO活動等は5割を超える人（56.7%）がやりたいと考えている一方で、ボランティアバンク登録を考えている人は2割にも満たない（13.9%）。また、コミュニティビジネスについてはやってみたいと思わない人が6割近くいる（58.7%）。
- ・ 自信があることとして、組織の中で協調的に行動できる人が2割（21.2%）を超えている一方で、特にないという人も2割程度（20.0%）いる。
- ・ ボランティア活動のやり方について、活動に肯定的な人（48.8%）と否定的な人（51.2%）が半分ずつ程度である。このことから約半数が市民活動・ボランティア活動・NPO活動にあまり興味が無いことがわかる。しかし、誘われたらやってみたい人が4割を超えており（41.3%）、手を差し伸べれば大きな力になる。
- ・ 様々な活動を開始するにあたり、具体的にいつから始めるか考えられない人が最も多く、3割を超えている（32.7%）また、活動の頻度については週に1～2日が最も多い（31.5%）
- ・ コミュニティビジネスを始めるにあたり、一月あたり10万円程度の収入を考えたい人が多い（33.9%）
- ・ 行政や民間には情報提供を望んでいる（21.2%）

資料 アンケート調査票

下野市

団塊の世代の皆様に関するアンケート調査

《アンケート調査ご協力についてのお願い》

市民の皆さまには、日頃より教育委員会の事業に対して、ご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

市教育委員会では、市の協働のまちづくりを目指した団塊世代の人材活用による活性化の推進を図るため、団塊世代の皆さまがこれからどのような生き方をされようとしているのか、地域のまちづくりに参加していただけるのであればどのような分野なのか、などについてのお考えをお聞かせいただければと思います、アンケート調査を実施することとしました。

今回実施するアンケート調査は、市内にお住まいの昭和22年度から24年度生まれの方々の中から無作為に選ばせていただいた1,000人を対象としています。

つきましては、大変お手数をおかけし恐縮ですが、趣旨をご理解いただきアンケートにご協力賜りますようよろしくお願い申し上げます。

なお、お答えいただいた内容は、この調査の目的だけに利用し、秘密の保持には万全を期しますので、率直なご意見をお聞かせくださいようお願い申し上げます。

平成21年5月

下野市教育委員会

《ご記入にあたってのお願い》

- ご質問中の「あなた」とは、宛名のご本人をさします。
- 住所・氏名の記入は必要ありません。
- ご記入は、鉛筆、ボールペン等で結構です。
- ご回答は、該当する番号に○印を指定された数だけお付けください。
また、「その他（ ）」や「自由意見」欄については、お考えをお書きください。
- ご記入いただきました調査票は、平成21年6月19日（金）までに、同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずにお出してください。

- 記入方法や調査についてのお問い合わせは、下記までご連絡ください。
下野市教育委員会 生涯学習課 生涯学習推進グループ 黒川 柳田
TEL：0285-52-1119
FAX：0285-52-2624

あなたご自身のことについておたずねします。

問1 性別を教えてください。

- | | |
|------|------|
| 1. 男 | 2. 女 |
|------|------|

問2 生まれた年度を教えてください。

- | |
|----------------------------------|
| 1. 昭和22年度 (S22. 4. 2～S23. 4. 1生) |
| 2. 昭和23年度 (S23. 4. 2～S24. 4. 1生) |
| 3. 昭和24年度 (S24. 4. 2～S25. 4. 1生) |

問3 現在の家族構成を教えてください。

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. 単身世帯 | 2. 夫婦のみ |
| 3. 二世帯同居(子と同居) | 4. 二世帯同居(親と同居) |
| 5. 三世帯同居 | 6. その他() |

問4 下野市に居住されてから何年になりますか。

- | | | |
|---------------|----------------|----------------|
| 1. 50年以上 | 2. 30年以上～50年未満 | 3. 10年以上～30年未満 |
| 4. 5年以上～10年未満 | 5. 5年未満 | |

問5 あなたの職業を教えてください。

- | | |
|--------------|--------------------|
| 1. 会社員・公務員 | 2. 会社役員 |
| 3. パート・アルバイト | 4. 自営業(自由業・農林業を含む) |
| 5. 家事専従 | 6. 無職 |
| 7. その他() | |

【問5で、1から4に○を付けた方にお聞きします。】

問6 あなたの勤め先はどちらですか。

- | | | |
|--------|-----------|-------|
| 1. 自宅 | 2. 下野市内 | 3. 県内 |
| 4. 東京都 | 5. その他() | |

問7 あなたはパソコンを使っていますか。

- | | |
|---------------|-------------|
| 1. よく使っている | 2. たまに使っている |
| 3. ほとんど使っていない | 4. 使ったことがない |

問8 あなたはインターネットを使っていますか。

- | | |
|---------------|-------------|
| 1. よく使っている | 2. たまに使っている |
| 3. ほとんど使っていない | 4. 使ったことがない |

日頃のおつきあいについておたずねします。

問9 あなたは日頃、近隣の方々とどんなおつきあいをされていますか。
(1つだけ選んでください)

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 1. 相談しあえる親しい友人がいる | 2. 家族同士でつきあっている家庭がある |
| 3. たまに立ち話をする程度である | 4. 顔が合えば挨拶をする程度である |
| 5. ほとんどつきあいはない | |
| 6. その他() | |

自由意見:

問10 あなたは地元の自治会に加入されていますか

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 加入している | 2. 今後加入しようと考えている |
| 3. 今後も加入しようと思わない | 4. わからない |

問10-2 「ア. 加入している」を選択した方におたずねします。自治会とのかかわり方の程度は次のうちどれですか(1つだけ選んでください)

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1. 会の役員をしている | 2. 積極的に会合や行事に参加している |
| 3. 時々イベントに参加する程度 | 4. 掃除などの当番だけはやる |
| 5. ほとんど参加しない | 6. その他() |

自由意見:

60歳以降の生活設計についておたずねします。

問11 あなたはこれからの生活設計や生きがい等について、どのようにお考えですか。
(1つだけ選んでください)

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1. 具体的な計画や考え方を持っている | 2. 具体的ではないがある程度考えている |
| 3. 今後考えていかなければと思う | 4. 特に考えようと思わない |
| 5. その他() | |

自由意見:

問12 あなたがこれからの生活で不安に思うことはどんなことですか。(2つ以内で選んでください)

- | |
|--------------------------|
| 1. 近所とのつきあい |
| 2. 経済的にやっていけるか |
| 3. 健康で過ごせるか |
| 4. 生きがいを見つけられるか |
| 5. 配偶者との関係を良好に保てるか |
| 6. 一人になった時に寂しさに耐えられるか |
| 7. 体が弱ったとき、面倒を見てくれる人がいるか |
| 8. オレオレ詐欺などの犯罪に巻き込まれないか |
| 9. 災害時孤立しないか |
| 10. その他() |

自由意見:

問13 あなたの生活設計の中で、関心のあることはどんなことですか。(2つ以内で選んでください)

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1. 収入や経済的な支え | 2. 行動範囲や情報源、情報量の変化 |
| 3. 精神的な張りや生きがい | 4. 交友関係 |
| 5. 余暇時間の増大とその使い道 | 6. 夫婦二人だけで過ごす時間 |
| 7. 健康の維持と管理 | 8. 家庭や地域での役割 |
| 9. その他() | |

自由意見:

問14 あなたは、関心のある事柄について、どこで学びたいと思いますか。(2つ以内で選んでください)

1. 専門学校	2. 大学	3. カルチャーセンター
4. 公民館・図書館	5. 私塾	
6. 公的機関の主宰する学習会(公民館・図書館を除く)		
7. 企業の主催する学習会	8. NPOや市民団体の主催する学習会	
9. その他()		
自由意見:		

問15 あなたは、関心のある事柄について、現在どのような形で情報を得ていますか。
(2つ以内で選んでください)

1. 広報	2. 新聞・雑誌・ミニコミ誌
3. 業界紙	4. インターネットで検索
5. 知人や友人からの口コミ	6. 公共機関の窓口
7. テレビ・ラジオ	8. その他()
自由意見:	

問16 ご家族との過ごし方についてお聞きします。あなたは現在同居の配偶者(単身赴任も含む)がいますか。(1つだけ選んでください)

1. いる	2. いない	3. その他()
-------	--------	-----------

【問16 で「1. いる」とお答えになった方にお聞きします。】

問16-2 これからどのような夫婦関係を望まれますか。(1つだけ選んでください)

1. 一緒に趣味を楽しむ時間を増やしたい
2. 一緒に地域活動やNPO(注1)活動などに取り組みたい
3. 食事など日常生活での共通の時間を増やしたい
4. 夫婦それぞれのやりたいことを大切にしたい
5. わからない
6. その他()
自由意見:

※ (注1)NPO

福祉、社会教育、環境など様々な社会貢献活動を行う市民団体。

問16-3 男性の方におたずねします。どのような家事を分担なさっていますか。
(いくつでも選んでください)

1. ゴミ出し	2. 家具・家電製品などの修理	3. 買い物
4. 食事の準備・片付け、料理		5. 掃除、洗濯
6. すべて一通りやっている		7. その他()
自由意見:		

問17 これからの生活であなたが重視したいと思うことはどんなことですか。それぞれの該当するところに○をつけください。

	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
(1)家庭生活を重視したい	1	2	3	4
(2)趣味・ライフワークなど自分の関心のあることを重視したい	1	2	3	4
(3)地域活動、NPO 活動などを重視したい	1	2	3	4
(4)仕事を重視したい	1	2	3	4
(5)健康を重視したい	1	2	3	4
自由意見:				

問18 これからあなたは趣味やライフワークとして、どのような活動をやりたいとお考えですか。
(2つ以内で選んでください)

1. スポーツ(インドア、アウトドア、スポーツ観戦など)
2. 旅行、観光(ドライブ、ツーリング含む)
3. 文化の鑑賞(音楽、映画、芸術・伝統芸能など)
4. 文化活動、創作活動(伝統文化・芸能、バンド、陶芸、手芸、写真など)
5. 土や緑に親しむ活動(家庭菜園、ガーデニングなど)
6. 研究活動
7. 上記1~6以外の活動()
8. やりたいと思っていない
自由意見:

市民活動やボランティア活動についておたずねします。

問19 あなたはこれから、地域の中で次のような活動をやってみたいとお考えですか。それぞれの該当するところに○をつけてください。

	やってみたい	誘われたら やってみたい	現在すでに やっている	やってみたいと は思わない
(1)自治会の役員、民生委員、保護司など	1	2	3	4
(2)趣味やスポーツなどのサークル活動	1	2	3	4
(3)ボランティア活動・NPO活動	1	2	3	4
(4)事業型NPOやコミュニティ・ビジネス ^(注2)	1	2	3	4

※(注2)コミュニティ・ビジネス

地域住民のニーズにあう公共的なサービスの提供を有償で行う事業。介護保険事業など一定の利益を得る「事業型NPO」のほか、地域密着型の企業や個人事業があります。

問20 あなたはいままで経験や知識から、どのようなことに自信がありますか。
(2つ以内で選んでください)

1. 世の中の動きや情報についていける 2. 仕事以外の友人や知人のネットワークを持っている 3. 人に教えることができるような資格や趣味、特技がある 資格・特技があれば記入してください。例…パソコン、昔の遊び等 () 4. 組織の中で協調的に行動できる 5. 健康で体力や行動力に自信がある 6. リーダーとしてグループをまとめる力がある 7. イベントなどの企画力や資金集め、宣伝などの営業ができる 8. 特にな 9. その他()
自由意見:

問21 問20で回答をしたあなたの特技や専門知識を活かすために、ボランティアバンク等に登録したいと思いますか。

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問22 あなたがこれから市民活動やボランティア活動、NPO 活動に参加するとしたら、どのようにかかわりたいとお考えですか。(1つだけ選んでください)

1. コミュニティ・ビジネス、事業型 NPO を起業・創業したい 2. 起業はしないが、コミュニティ・ビジネス等を行う組織に所属したい 3. 市民活動団体やボランティア団体に所属して活動したい 4. 個人でボランティア活動に参加したい 5. 特にやりたいとは思わない 6. その他()
自由意見:

問23 あなたがこれから市民活動やボランティア活動、NPO 活動に参加するとしたら、どのような種類の活動をやってみたいと思いますか。
(該当する項目の枠内に、いくつでも○をつけてください)

	やってみたい	今やっている
(1) 高齢者の福祉や生活にかかわるサービス (例: グループホーム、外出の付添いなど)		
(2) 障害者の福祉や生活にかかわるサービス (例: 外出の介助やデイサービスなど)		
(3) 日常生活の軽度な支援(便利屋的な仕事) (例: 大掃除の手伝い、草むしりやペットの世話など)		
(4) 育児や子育て中の親への支援 (例: 学童クラブや一時保育など)		
(5) 児童・生徒や学校への支援 (例: 学力の指導、子ども会やクラブ活動の指導など)		
(6) 文化、芸術などにかかわる活動 (例: 古典芸能や茶華道の指導など)		

(7)技術を生かした作業や指導 (例:木工・工作の指導、公園や学校での植栽指導など)		
(8)リサイクルや環境に関する活動 (例:リサイクルショップの経営、たい肥をつくるなど)		
(9)食に関する活動 (例:お弁当の宅配、そば打ち教室、カフェの経営など)		
(10)パソコンなどのIT関連 (例:お年寄り向けパソコン教室、ホームページ作成など)		
(11)地域のまちづくりにかかわる活動 (例:タウン誌の発行、コミュニティFMの番組制作など)		
(12)分野にかかわらず、組織や団体の事務局支援 (例:NPOの経理・営業・広報、マネジメントの指導など)		
(13)特にやりたいと思わない		
(14)その他 ()		

問24 あなたがこれから市民活動やボランティア活動、NPO活動に参加するとしたら、いつごろからはじめたいですか。(1つだけ選んでください)

1. すぐにでも活動したい 2. 退職後や引退後本格的に活動できるように準備を始めたい 3. 来年以降、徐々に準備をしたい 4. まだ考えられない 5. やってみたいと思わない 6. その他()
自由意見:

問25 あなたがこれから市民活動やボランティア、NPOなどの事業や活動に参加するとしたら、そのために週何日程度参加できますか。(1つだけ選んでください)

1. 5日以上	2. 3~4日	3. 1~2日
4. 不定期	5. やってみたいと思わない	
自由意見:		

問26 あなたがこれからコミュニティ・ビジネスなどの事業を起こしたり参加したりするとしたら1ヶ月あたりどのくらいの収入があればいいと思いますか。

約()万円 自由意見:

問27 あなたがこれから事業や活動を開始するために、行政や民間から支援してほしいことはなんですか。(2つ以内で選んでください)

- | | | |
|-----------------|--------------|--------------|
| 1. 活動事例の紹介 | 2. 情報の提供 | 3. 活動に関する講習会 |
| 4. 会員の仲間作りの場・機会 | 5. 寄付などの資金提供 | 6. 活動場所の提供 |
| 7. 特にない | 8. その他() | |

自由意見:

これからの人生設計や地域での活動についてお考えのことがあればお聞かせください。
(ご自由にお書きください)

多くの設問にもかかわらず、ご協力いただきましてありがとうございました。この調査票は綴じたまま返信用封筒に入れ、投函してください。